

ESGの視点	重要課題 (マテリアリティ)	SDGs	取組項目	アクションプラン	目標(KPI)	目標値	実績/評価
E 環境	環境に配慮した事業の遂行		脱炭素の推進	CO2 排出量の削減	施工高あたりのCO2 排出量	前年比減	・ 75期：2.00 t /億円の実績で前期比9.5%減少が図られました。
				廃棄物処理金額(排出量)の削減	施工高あたりの廃棄物処理金額	前年比減	・ 75期：2,428kg/億円の実績で前期比5.9%の増加となりました。
				社有物件の省エネシステム、設備の導入	新規設置件数	2件	・ NICハイム：照明LED化完了 ・ シーバンス：3フロア照明LED化及び共用部分にグリーン電力を利用計2件を実施し省エネ化を図りました。
			木材活用事業への取組	木造・木質建築プロジェクトへの関与の増強	木造・木質建築、改修案件の取扱件数	1件	・ 0件
			再生可能エネルギー事業の推進	太陽光発電の継続実施	太陽光年間発電状況	発電実績を報告	・ 総発電量 75期：2,648,850KWhの実績となりました。
S 社会	品質の確保と技術の向上		技術力の向上	業務遂行上の創意工夫の奨励	馬淵知財※認定件数 ※特許・実用新案に準ずるものとして技術提案を社内認定する制度	1件	・ 海岸部擁壁に於ける高潮対策 ・ 杭芯計測定規及び杭芯計測方法 の2件の認定をしました。
			顧客満足度の向上	官民顧客評価値の向上	官・民、建築・リニューアル・土木、点検等のカテゴリ別の評価総合点	前年平均以上	・ 75期平均：民間91.3点・官庁78.4点と前年より僅かに下降しました。 ・ 多くの外部表彰を受賞しました。 BELCA賞ベストリフォーム賞 JV横浜スタジアム改修工事 国土交通省表彰 旧園通寺客殿復元を含む 表彰状受理 計20件
	働き甲斐のある職場の実現		ワークライフバランスの推進	労働時間の削減	工事部門月間平均休日取得日数	前年比増	・ 現業部門9.51日（前年比0.05日増加）とほぼ横ばいとなりました。
			安心・安全な職場環境の整備	職場環境改善につながる制度の導入、設備の導入・改修	制度の導入、設備の設置、改修状況	実施状況を報告(定性)	・ 本社会議室に大型液晶モニターを設置 ・ 本社固定電話の削減⇒個人社有携帯への転送 ・ 総労働時間の削減/有給休暇の取得推進 ・ 「フレックスタイム制度規程」制定（2023年1月1日） ・ 「育児休業等取扱規則」制定（2022年10月1日） ・ 「介護休業等取扱規則」制定（2022年10月1日）等 職場環境改善を図りました。
			重篤災害の撲滅	重篤災害発生件数	ゼロ	・ 継続した安全対策を実施し、重篤災害の発生はありませんでした。	
	地域社会への貢献		CSR活動	工事現場周辺のイメージアップ活動の実施	活動状況	実施状況を報告(定性)	・ 作業所仮囲いにまちかど障がい者アートギャラリーを1件実施し障がい者の作品発表の場として利用いただきました。 ・ 型枠トレーサビリティを実施しました。 (三菱地所レジデンス受注工事)
				地域環境活動への参加	参加回数、参加延べ人数	実施状況を報告(定性)	・ 直轄国道におけるボランティア清掃を8回実施し延べ81名が参加しました。 ・ 沼津市牛臥地区海岸の清掃活動を社員及び協力業者計55名にて実施しました。
	G 企業統治	コーポレートガバナンスの強化		コンプライアンスの徹底	コンプライアンス教育、研修の実施	コンプライアンス研修受講率 (講習出席者/講習対象者)	100%
リスク管理の徹底				B C P訓練の徹底	訓練結果に基づく課題抽出と改善実施	一項目以上	・ 国土省関東地方整備局へBCP関連書類一式提出（2022年6月10日） ・ BCP訓練実施（2022年10月5日） ・ 課題を抽出し、対策を実施しました。
パートナーシップ			協力業者との連携	技能者の育成	Mzecマイスター※の認定者数 ※協力業者の中から優良職長を認定する制度	10人以上	・ Mzecマイスターは2年に1度認定で76期に認定実施します。
			協力業者への技能訓練・教育の実施	各種特別教育の実施件数、参加延べ人数	実施状況を報告(定性)	・ 実施はありませんでした。	